

保健管理センター

1-1 構成員

平成29年3月31日現在

教授	0人
病院教授	0人
准教授	0人
病院准教授	0人
講師(うち病院籍)	1人 (0人)
病院講師	0人
助教(うち病院籍)	0人 (0人)
診療助教	0人
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	0人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	1人
その他(技術補佐員等)	1人
合 計	3人

1-2 教員の異動状況

榎本紀之、講師、平成27年4月1日～現職

2 講座等が行っている研究・開発等

1	(1)研究・開発等のテーマ名	医学部学生における新規簡易問診票を用いたメンタルヘルス不調のスクリーニングの試み
	(2)研究・開発等の背景、目的、内容の概略	本研究の目的は、学生の発達障害を含むメンタルヘルス不調を捉えるため、新規に簡易質問票を作成し、医学部におけるその有用性を検討することである。 本学では新入学生に対するメンタルヘルスマネジメントを目的に、昭和61年よりUPI質問票による調査を実施し、カウンセラーや保健師との面談による支援を行っているが、UPIは質問数が60項目と多く、その精度も疑問視されている。K6、K10は、成人の抑うつ、不安をよく反映する簡便な質問票であるが、大学生・特に医学部学生での検討はごくわずかである。また、近年注目されている発達障害ではコミュニケーション障害を伴うことが多く、病院での実臨床における大きな障害となることが予測される。さらに平成28年4月から身障者差別解消法が施行され、UPIでは捉えることのできない発達障害についても早期の対応が求められてきている。本研究では新規に作成した簡易問診票を用いて学生のメンタルヘルス不調および発達障害を評価可能かを検討する。
	(3)前年度までの状況	これまでは、UPI問診で一定基準以上の訴えがあった学生と、相談したいと自己申告があった学生について個別対応していた。
	(4)当該年度内の進捗	K6質問票を含む新規の問診票を作成した。また、発達障害を早期に発見するための項目も含めた。
	(5)翌年度の方針と予想	今後は新入生に対し新規問診票による評価を実施し、新規問診票の季節的な変化および今後のメンタルヘルス不調の発現などとの関連を評価する予定である。

3 論文、症例報告、著書等

	平成28年度
(1)原著論文数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000
(2)論文形式のプロシーディングズ及びレター	0編
そのインパクトファクターの合計	0.000
(3)総説数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000
(4)著書数(うち和文のもの)	0編 (0編)
(5)症例報告数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000

4-1 特許等の知的財産権の取得状況

	平成28年度
特許等取得数(出願中含む)	0件

4-2 薬剤、医療機器等の実用化、認証、承認、製品化、販売等の状況

	平成28年度
実用化、認証、承認、製品化、販売数	0件

5 医学研究費取得状況

	平成28年度	
	件数	金額 (万円未満四捨五入)
(1) 科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)	0 件	0 万円
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	0 万円
(3) 日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0 件	0 万円
(4) 科学技術振興機構(JST)による研究助成	0 件	0 万円
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	0 万円
(6) 財団助成金	0 件	0 万円
(7) 受託研究または共同研究	0 件	0 万円
(8) 奨学寄附金	0 件	0 万円

6 大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	(1) 国際学会	(2) 国内学会
1) 基調講演・招待講演回数	0 件	0 件
2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
3) 学会座長回数	0 件	0 件
4) 学会開催回数	0 件	0 件
5) 学会役員等回数	0 件	0 件
6) 一般演題発表数	0 件	0 件

8 学術雑誌の編集への貢献

	(1) 外国	(2) 国内
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成28年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成28年度
産学共同研究	0 件

11 受賞

12 新聞, 雑誌, インターネット等による報道

13 その他の業績

- | |
|---|
| 1. 第54回全国大学保健管理研究集会 一般研究 (ポスターディスカッション) 2016年10月5日 大阪 |
|---|